

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月5日

上場会社名 理想科学工業株式会社 上場取引所 東

コード番号 6413 URL https://www.riso.co.jp/

(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 羽山 明 代表者

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 コーポレート本部長 (氏名)成宮 慶臣 TEL 03-5441-6611

半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無:有

決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画(録画)を配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		売上高 営業利益		経常利	益	親会社株主に帰属する 中間純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2026年3月期中間期	37, 620	△1.4	2, 540	△9.4	2, 810	6. 9	1, 791	0. 5	
2025年3月期中間期	38, 167	9. 6	2, 804	52. 3	2, 630	12. 3	1, 782	△4.7	

(注)包括利益 2026年3月期中間期 2,603百万円 (91.2%) 2025年3月期中間期 1,361百万円 (△62.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	27. 96	_
2025年3月期中間期	27. 23	_

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮 定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
2026年3月期中間期	89, 905	65, 475	72. 8	
2025年3月期	88, 911	66, 505	74. 8	

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 65,475百万円 2025年3月期 66,505百万円

2. 配当の状況

		年間配当金								
	第1四半期末	51四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計								
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭					
2025年3月期	_	0.00	_	50.00	50.00					
2026年3月期	_	0.00								
2026年3月期(予想)			-	50.00	50.00					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77, 200	△1.9	5, 300	△14.3	5, 700	△10.4	4, 500	10. 1	70. 40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更:無 新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 :無② ①以外の会計方針の変更 :無③ 会計上の見積りの変更 :無④ 修正再表示 :無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)2026年3月期中間期72,000,000株2025年3月期72,000,000株② 期末自己株式数2026年3月期中間期8,229,016株2025年3月期7,879,016株③ 期中平均株式数(中間期)2026年3月期中間期64,067,968株2025年3月期中間期65,455,944株

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(決算説明会内容の入手方法)

「2026年3月期第2四半期(中間期)決算説明会」は、2025年11月13日(木)にオンデマンド方式での動画(録画)配信にて公開を予定しています。説明に使用する決算説明会資料についても、同日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1.	経常	営成績等の概況	2
	(1)	当中間期の経営成績の概況	2
	(2)	当中間期の財政状態の概況	2
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	中間	間連結財務諸表及び主な注記	4
	(1)	中間連結貸借対照表	4
	(2)	中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
		中間連結損益計算書	6
		中間連結包括利益計算書	7
	(3)	中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4)	THOUGHT AND THE STATE OF THE ST	9
		(セグメント情報等の注記)	9
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
		(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、2026年3月期の経営方針に、「印刷機器関連事業の安定した運営を継続する」、「理想科学らしい企画・開発を推進する」、「コーポレート本部の企画力を充実する」を掲げ運営しております。

当中間連結会計期間の業績は、前年同中間期と比べ売上高は減収、営業利益は減益、親会社株主に帰属する中間 純利益は増益となりました。印刷機器関連事業において、本体製品の販売がやや減少したことに加え為替が対米ドルで円高に推移した影響を受けました。また、2024年7月のインクジェットへッド事業統合により売上高、売上総利益及び販売管理費が増加しました。売上総利益の増加には事業統合による原価低減効果も寄与しました。

営業外損益に為替差益1百万円(前年同中間期は為替差損4億1千6百万円)を計上し、特別損失に子会社清算損1億1百万円を計上しました。

売上高は376億2千万円(前年同中間期比1.4%減)、営業利益は25億4千万円(同9.4%減)、経常利益は28億1千万円(同6.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は17億9千1百万円(同0.5%増)となりました。

なお、当中間連結会計期間の期中平均為替レートは、1米ドル146.04円(前年同中間期比6.59円の円高)、1ユーロ168.06円(同2.11円の円安)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

• 印刷機器関連事業

当社グループは、印刷機器関連事業として、「印刷機器事業」と「インクジェットへッド事業」を行っております。このうち「印刷機器事業」では、高速インクジェットプリンター「オルフィス」を主としたインクジェット事業とデジタル印刷機「リソグラフ」を主とした孔版事業を行っております。

印刷機器関連事業は、当中間連結会計期間において、売上高は368億1百万円(前年同中間期比1.3%減)、セグメント利益は23億7千5百万円(同10.9%減)と前年同中間期と比べ減収減益となりました。

日本の売上高は172億5千万円(同2.5%減)、海外の売上高は195億5千1百万円(同0.3%減)となりました。

• 不動産事業

当社グループは、不動産事業として、ビルの賃貸等を行っております。

不動産事業の売上高は、5億4百万円(前年同中間期比3.3%減)、セグメント利益は3億2千2百万円(同3.1%減)となりました。

その他

当社グループは、上記の報告セグメントの他、プリントクリエイト事業、デジタルコミュニケーション事業及び アプリケーションソフトウェア事業等を行っております。

その他の売上高は、3億1千4百万円(前年同中間期比8.9%減)、セグメント損失は1億5千6百万円(前年同中間期は1億9千3百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

総資産は9億9千4百万円増加し、899億5百万円となりました。また、純資産は10億3千万円減少し、654億7千5百万円となりました。

主な増減内容は、資産の部では、現金及び預金が18億2千8百万円増加し、受取手形及び売掛金が19億7千万円減少しました。負債の部では、短期借入金が21億6千8百万円、退職給付に係る負債が6億8千8百万円それぞれ増加し、長期借入金が3億7千5百万円減少しました。純資産の部では、利益剰余金が14億1千4百万円減少し、為替換算調整勘定が5億5千9百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は2.0ポイント減少し72.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果獲得した資金は43億1百万円(前年同中間期比82.8%増)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益27億9百万円、減価償却費14億6千万円、売上債権の減少額22億1千5百万円、法人税等の支払額7億1千1百万円によるものです。

投資活動の結果支出した資金は10億4千万円(同84.9%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7億3百万円、無形固定資産の取得による支出3億5千8百万円によるものです。

財務活動の結果支出した資金は16億8千4百万円(前年同中間期は1億3千5百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の純増額21億6千6百万円、自己株式の取得による支出4億2千7百万円、配当金の支払額32億6百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2025年5月9日に公表した連結業績予想を修正しました。

詳細については、本日(2025年11月5日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

貸倒引当金

固定資産合計

資産合計

投資その他の資産合計

	前連結会計年度	当中間連結会計期間
	(2025年3月31日)	(2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13, 610	15, 439
受取手形及び売掛金	13, 604	11, 63
有価証券	218	10-
商品及び製品	7,651	7, 63
仕掛品 (2) (2) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	789	80
原材料及び貯蔵品	2, 542	2, 67
その他	2, 989	3, 15
貸倒引当金	△174	△18
流動資産合計	41, 232	41, 26
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23, 982	24, 19
減価償却累計額	△16, 895	△17, 25
建物及び構築物(純額)	7, 087	6, 94
機械装置及び運搬具	7, 450	7, 67
減価償却累計額	△6, 485	△6, 66
機械装置及び運搬具(純額)	965	1, 01
工具、器具及び備品	12, 897	13, 25
減価償却累計額	△12, 093	$\triangle 12,37$
工具、器具及び備品(純額)	803	87
土地	17, 755	17, 77
リース資産	310	30
減価償却累計額	△126	△14
リース資産(純額)	183	16
建設仮勘定	582	66
その他	9, 304	9, 59
減価償却累計額	△7, 510	$\triangle 7,39$
その他(純額)	1, 794	2, 19
有形固定資産合計	29, 172	29, 62
無形固定資產		
のれん	2, 308	2, 03
ソフトウエア	1, 104	1, 25
その他	2, 027	1,91
無形固定資産合計	5, 440	5, 20
投資その他の資産		
投資有価証券	4, 288	5, 05°
長期貸付金	10	1
繰延税金資産	1,631	1, 48
退職給付に係る資産	3, 574	3, 81
その他	3, 574	3, 45
イキ なにコートル へ	A 10	Λ -1

 $\triangle 12$

13,066

47,678

88, 911

 $\triangle 12$

13,809

48, 643

89, 905

(単位:百万円)

		(単位:日万円)	
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)	
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	5, 556	5, 556	
短期借入金	1, 404	3, 572	
1年内返済予定の長期借入金	563	751	
未払法人税等	788	746	
賞与引当金	1, 992	2, 098	
役員賞与引当金	52	41	
製品保証引当金	27	24	
その他	7, 607	7, 016	
流動負債合計	17, 990	19, 808	
固定負債			
長期借入金	2, 445	2,069	
繰延税金負債	31	283	
退職給付に係る負債	718	1, 406	
その他	1, 220	863	
固定負債合計	4, 414	4, 622	
負債合計	22, 405	24, 430	
純資産の部			
株主資本			
資本金	14, 114	14, 114	
資本剰余金	14, 779	14, 779	
利益剰余金	38, 213	36, 799	
自己株式	△8, 315	△8, 743	
株主資本合計	58, 792	56, 949	
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	2, 212	2,672	
為替換算調整勘定	3, 138	3, 698	
退職給付に係る調整累計額	2, 362	2, 155	
その他の包括利益累計額合計	7, 713	8, 525	
純資産合計	66, 505	65, 475	
負債純資産合計	88, 911	89, 905	
		<u> </u>	

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

(中間連結損益計算書)		
		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
	38, 167	37, 620
売上原価	15, 780	14, 989
売上総利益	22, 387	22, 630
販売費及び一般管理費	19, 583	20, 089
営業利益	2, 804	2,540
営業外収益		
受取利息	141	134
受取配当金	55	78
為替差益	_	1
その他	100	112
営業外収益合計	297	326
営業外費用		
支払利息	18	43
為替差損	416	_
固定資産除却損	9	2
その他	27	10
営業外費用合計	470	56
経常利益	2, 630	2,810
特別損失		
子会社清算損		101
特別損失合計	_	101
税金等調整前中間純利益	2, 630	2,709
法人税等	848	918
中間純利益	1, 782	1,791
親会社株主に帰属する中間純利益	1, 782	1,791

(中間連結包括利益計算書)

(1)的建州区沿州州州 尹 自 /		
		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1, 782	1,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	459
為替換算調整勘定	$\triangle 243$	559
退職給付に係る調整額	△138	△206
その他の包括利益合計	△420	812
中間包括利益	1, 361	2, 603
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1, 361	2, 603
非支配株主に係る中間包括利益	_	_

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

		(単位:白力円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2, 630	2,709
減価償却費	1, 408	1, 460
のれん償却額	135	271
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15	645
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	4
受取利息及び受取配当金	△196	△212
支払利息	18	43
為替差損益(△は益)	0	55
売上債権の増減額(△は増加)	3, 251	2, 215
棚卸資産の増減額(△は増加)	40	154
仕入債務の増減額(△は減少)	$\triangle 2,440$	△187
未払金の増減額(△は減少)	△170	△408
未払消費税等の増減額(△は減少)	2	△84
その他	△1,738	△1,830
小計	2, 944	4, 837
利息及び配当金の受取額	210	219
利息の支払額	△18	△43
法人税等の支払額	△782	△711
法人税等の還付額	0	_
営業活動によるキャッシュ・フロー	2, 353	4, 301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△409	△52
定期預金の払戻による収入	1,771	174
有形固定資産の取得による支出	△1, 097	△703
有形固定資産の売却による収入	4	8
無形固定資産の取得による支出	△613	△358
投資有価証券の取得による支出	_	△100
吸収分割による支出	$\triangle 6,436$	_
その他	△89	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6, 869	△1, 040
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1, 403	2, 166
長期借入れによる収入	3,000	_
長期借入金の返済による支出	$\triangle 0$	△188
自己株式の取得による支出	△954	$\triangle 427$
配当金の支払額	△3, 283	△3, 206
その他	△29	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	135	△1,684
現金及び現金同等物に係る換算差額	△151	185
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4, 531	1,762
現金及び現金同等物の期首残高	20, 088	13, 706
現金及び現金同等物の中間期末残高	15, 557	15, 469
	10, 301	10, 100

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

- I 前中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	幸	B 告セグメン				
	印刷機器 関連事業	不動産事業	計	その他	調整額	合計
売上高						
外部顧客への売上高	37, 301	521	37, 822	345	_	38, 167
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	_	0	_	$\triangle 0$	_
計	37, 301	521	37, 822	345	△0	38, 167
セグメント利益又は損失(△)	2, 665	332	2, 997	△193		2, 804

- (注) 1. 「印刷機器関連事業」には、印刷機器事業及びインクジェットヘッド事業を含んでおります。
 - 2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントクリエイト事業、デジタルコミュニケーション事業及びアプリケーションソフトウェア事業等を含んでおります。
 - 3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「印刷機器関連事業」セグメントにおいて、当社が新たに設立した子会社である理想テクノロジーズ株式会社が、東芝テック株式会社及び同社の連結子会社である株式会社テックプレシジョンが行っているインクジェットヘッド事業を会社分割(吸収分割)の方法により承継したことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては2,715百万円であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年4月1日至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	印刷機器 関連事業	不動産事業	計	その他	調整額	合計
売上高						
外部顧客への売上高	36, 801	504	37, 305	314	_	37, 620
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	_	0		△0	_
計	36, 801	504	37, 305	314	△0	37, 620
セグメント利益又は損失(△)	2, 375	322	2, 697	△156	_	2, 540

- (注) 1. 「印刷機器関連事業」には、印刷機器事業及びインクジェットヘッド事業を含んでおります。
 - 2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントクリエイト事業、デジタルコミュニケーション事業及びアプリケーションソフトウェア事業等を含んでおります。
 - 3. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当中間連結会計期間において自己株式の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が427百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が8,743百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。